

# かわさき区の宝物シート

宝物No.
1-5

## かわさきいなりしや 川崎稲荷社



エリア	中央地区	シーズン	通年
	川崎駅前北	日時	

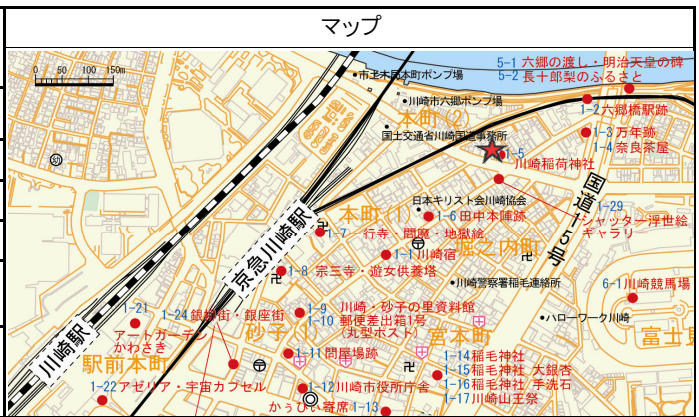
目的	<input type="checkbox"/> 観る <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他
----	--

宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物
------	--



写真提供：NPO法人かわさき歴史ガイド協会

所在地	川崎区本町2-10-9
問い合わせ	NPOかわさき歴史ガイド協会
TEL	044-221-9117
FAX	044-221-9117
E-mail	
URL	
交通	京急川崎駅より徒歩5分



### 基礎情報

■古くから川崎新宿のお稲荷さまとして、土地の人々の信仰を集めてきた神社。戦災で社殿や古文書は焼失したため、創建は不明。  
 ■2月の第2日曜日に町会による稲荷講の祭りが開催され、餅つきが行われ参拝者に配られている。

### 由来・エピソード

■現在の社殿や鳥居は昭和26年(1951)頃、戦前の建物を模倣して再建された。基礎の土留めには二ヶ領用水に架かっていた石橋の部材が使用され、土留めの外側は、橋の上を多くの人が歩いて磨耗した跡がうかがえる。社殿の下には、いわれのあるケヤキの大木の切り株が眠っているという。昔、ケヤキの大木を切ったところ、ケガ人が後を絶たず、そのお祓いのために切り株の上に社を建てたと伝えられている。そのため、現在の社殿は、以前とは違う位置に建てられたという。  
 ■川崎新宿（現在の京急川崎駅周辺）にあった「馬の水飲み場」から、稲荷社の前を通る道は「稲荷横丁」と呼ばれた。  
 ■享保元年(1716)、紀州藩主の徳川吉宗が八代将軍継承で江戸に向かう際、本陣付近の稲荷社の境内で休息したというエピソードも残っている。

### 補足・その他

### 関連シート

- (1-1)川崎宿
- (1-6)田中本陣跡